



庄原自治振興区だより

第 173 号 令和 3 年 3 月 19 日発行

〒727-0013

庄原市西本町二丁目 17 番 15 号

TEL/FAX

(0824) 72-3777



手作り「エコストーブ教室」を行いました。！！

本区 生涯学習事業

2 月 21 日(日)10 時～14 時、のどかな春の日差しの中、庄原市民会館ロビーにおいて、区民の皆様からの要望により、昨年度に引き続き『エコストーブ教室』を開催しました。

講師は、大歳下自治会の“燠家(いぶしや)ぽかぽか”西山昭憲さん親子にお願いし、アウトドアや災害時に役立つエコストーブづくりを、定員 15 名の参加により和気あいあい、協力しながら楽しく制作しました。特に、オイル缶を金切はさみで円形に切り除く作業では、多くの皆さんが苦心されていました。12 時ごろには、エコストーブと羽釜で炊いたご飯で、講師手作りのカレーライスで昼食、また、エコストーブを使用した、イノシシ肉の焼肉・焼き芋・手造りピザなど、盛りだくさんの提供で楽しい昼食休憩でした。

午後は、最後のビス止めの組み立てを行い、全員素晴らしいエコストーブが完成、笑顔の記念写真撮影ですべての予定を終了しました。来年度においても区民の皆様が気軽に参加体験いただける行事を開催したいと考えていますのでご期待ください。



完成



令和 2 年度 全国統一防火標語

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」



2 月役員会報告

(2 月 24 日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 「上野池クリーン作戦」の開催について
 - ・日時・場所・・・3 月 29 日(月) 13 時 30 分～1 時間程度、上野池湖畔周辺及瓢山周辺
 - ・内 容・・・湖畔及び湖面のごみ回収、瓢(ひさご)山周辺低木の伐採・草刈り(新規取組)
- (2) 水路等堆積土砂取り除き清掃の実施について(対象：本町地区)
 - ・日 時・・・4 月 29 日(木・祝)、7 時～9 時(少雨決行)
- (3) 自治会活動報告・・・川手下 - 大澤自治会長、次回は 3 月、宮内自治会



～ いにしえの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.11



シリーズふるさと歴史文化散策 中世4

《郷土の歴史から消えた？庄原氏》 中世期庄原の章を終わる今回、「庄原」という地名の起りの一つといわれる、庄原氏に焦点を当ててみたいと思います。

永江荘という地名が歴史に登場し、約220年が経過し中世が終わります。この間、天文22(1553)年には山内首藤氏が毛利氏に帰服、天正18(1590)年に毛利輝元が広島城を築き、家臣団の城下集住化を図ります。

これに伴い、有力家臣の配置換えや、知行地の細分化が行われ山内首藤家は毛利氏との特別な関係から配置転換を免れますが、所領は細分され減少、その中には、永江荘も含まれていた可能性があります。なお、文禄年間(1593～1596)の広島城下絵図には、東側に山内首藤氏の屋敷地が記載(広島市史5巻・地図)されています。

この領地・知行変動を背景に毛利氏家臣の庄原氏が永江荘の全部、またはその一部を領有した可能性は十分あります。

だとしたら、庄原氏が庄原・柳原地区に住んだのは、天正19(1591)年以降ということになりますが、給地(領地)を与えられたとの記録は見つかっていません。

庄原氏の人物像について、当時、永江荘は信敷荘青影城(峰田町)に居城する、毛利氏家臣赤川氏と、地毘荘甲山城(本郷町)に居城する山内首藤氏には含まれています。

また、約30年後に行われた元和5(1619)年の知行帳から永江荘の生産高をみると、正原村(庄原)約961石、河手村(川手)約608石、宮内村約440石、新荘村(新庄)約588石で、概算2,597石となっています。永江荘は荘園制度が終わり江戸時代に入っても、庄原・川手・宮内・新庄の4ヶ村がそう呼ばれ、中世の荘園名がそのまま地域名として使われました。

元和の検地時点と、庄原氏が治めた時代に大幅な経済的変化は無いと思われますので、この資料を使いました。

この範囲のどこまでを庄原氏が支配したのか判りませんが『庄原雑録』には、塩市が立ち町並みが始まり、商業活動が盛んになってきたことが記録されており、人口・戸数はわからないものの、この地を治める人物には、毛利家譜代、もしくはこれと同等の家格(実力)を有した者があてがわれたと考えられます。

このような状況のもとで山王城(柳原地区)が構築され、城主は、江戸時代末期の地誌『芸藩通志』では庄原奎之進、同じく『西備名区』では庄原奎之介となっています。

「山王城」について、庄原郷土史研究会谷本寛氏は、次のように述べています。

- ① 山王城跡(柳原地区 御神田山)は、その遺構から山内首藤系の城郭とはタイプが異なる。
- ② 土塁を多用し直線的な塁線を有すことから、毛利系の城郭と類似する。
- ③ 枡形虎口(四角い形の出入口)から16世紀後半～末に位置づけられる。
- ④ 以上から、同城は毛利氏家臣の庄原氏が城主であった可能性が高い。

さらに、同氏による「毛利家文書に記された庄原氏」調査では、天文10(1541)年～天正3(1575)年の、庄原氏を名字とする記名には、又三郎・木之助・新三郎・七郎次郎があります。

「庄原奎之進・奎之介」がこれらの人物であるとすれば、毛利氏家臣の庄原氏が、柳原自治区内の日吉神社(山王権現)を修築し、川手中自治区内の甲代八幡神社を建立したことになります。

やがて、慶長5(1600)年関ヶ原合戦が起き、その敗者となった毛利氏は移封され、山内氏・赤川氏と共に庄原氏も同行したと思われますが、残念ながらこれを立証する記録はありません。

今回は、いよいよ近世「江戸時代」に入ります。江戸時代の郷土(庄原)をお楽しみに……。

《文・構成 庄原自治振興区 歴史文化継承委員会》



日吉神社後方の本殿



柳原 日吉神社



川手中 甲代八幡神社

子供将棋教室 最終日「将棋大会」開催！！

生涯学習事業の一環として、昨年 9 月から本年 2 月まで半年間にわたり、月 2 回 “子供将棋教室(講師：亀山紀林(としき)さん)” を開催しました。

教室には小学生を対象に初心者と、経験者を合わせ 15 名の参加があり、半年間の長丁場にもかかわらず、一回も休まず出席した子供が 7 名もいて、意欲のある教室となりました。

2 月の最終日の 2 月 27 日(土)には成果を試す将棋大会を開催、終始緊張した雰囲気の中で、真剣勝負が繰り広げられ、勝負に敗れ涙する子供もいて意欲が伝わってきました。初心者の部は、松尾大慈君(庄原小 2 年)が優勝、経験者の部は熱戦のすえ、佐竹優太君(庄原小 6 年)が優勝しました。表彰式の後、講評として亀山講師から「これからも将棋とのつながりを日々忘れず、友達の輪を拡げて欲しい」とありました。

初心者も経験者もいつもと違った大会とあって盛り上がり、白熱した大会となりました。



人 権 学 習 会

本年度の人権学習DVDは、「知りたいあなたのこと」「なぜ、騙されるのか？」で実施されましたが、新型コロナウイルスにより例年に比べて減少傾向となりました。



美湯ハイツ自治会 (10/ 4)	宮内自治会 (11/26)	新道上自治会 (2/ 15)
西県営住宅自治会 (11/ 2)	川手中自治会 (12/ 7)	
紅屋自治会 (11/15)	西下自治会 (2/12)	

自治会紹介

① 美湯ハイツ自治会 自治会長 松浦 誠

- ・住所・庄原市宮内町(美湯ハイツとその周辺)
- ・会員数(戸数) 135 戸

自治会には 5 つの班があり、活動、交流のまとまりとなって、回覧・配布など日常的な活動をしています。(ゆうしゃいん庄原も一つの班であり、その他にもマンションなどの団体加入があるので、戸数はおよその数となります) 自治会には、班以外に防災会、環境衛生部、青年部、子供会育成部の組織があり、目的を持った活動をしています。また交流サロンむつみ会、グラウンドゴルフ同好会、花咲かせ帯(連帯の意味)といった同好組織もあり、独自活動をしています。

自治会の活動に、年 2 回の大規模環境整備作業+全市一斉のクリーンキャンペーンがあります。新しい家並みなので、自分の家の内外をきれいにするのは、個々で努力していますが、家の周りや並木通り、公園などの環境美化をみんなで努めています。

また、親睦交流や楽しみづくりにも取り組み、夏祭りには、班ごとのお店や出し物、子供たちの手作りおみこしや歌声があり、打ち上げ花火もしてきました。とんどでも、やぐらづくりは勿論のこと、自治会役員を中心に豚汁、ぜんざい、お神酒等でもてなし、くじ引き大会などで賑やかにしてきていました。



平成 30 年の夏祭り

第3回健康寿命向上セミナーを開催しました。

・・・フレイル予防「低栄養を予防するための食生活」について・・・

フレイルとは：「加齢により虚弱的状態となること」

2月25日(木)、13時30分から市民会館集会室において9名の参加により、本年度最終回のセミナーを開催しました。最初に、市役所保健医療課の寺平保健師からフレイル予防に向けた「健康状態のチェックシート」について説明があり参加者で記入しました。

講師の管理栄養士：原明美さんからは「低栄養を予防しよう」をテーマにお話をいただきました。フレイルの予防に向けて、日ごろから低栄養にならない食事が必要です。

日々の食生活に必要なこと、**①3食きちんと食べること****②「主食」「主菜」「副菜」の揃った食事****③肉・魚・卵・豆腐などのタンパク質が不足しないように****④間食に牛乳・乳製品を****⑤市販の惣菜・缶詰の活用**など大切にしましょう。又、水分もしっかりとりましょう！！ 続いて、コロナ等感染予防に必要な「手洗い」体験を行いました。※日ごろの手洗いの実態を確認し、その大切さを実感しました。そして、最初に記入した「健康状態のチェックシート」により、参加者が個別に改善すべきポイントを保健師さんから指導を受けました。



老人クラブ 紅屋結いの会

2月27日(土)9時30分から紅屋会館へ18名が集合し、コロナ感染症対策として「体温測定」と「健康チェック」を行った後、①コロナワクチン接種に便乗した詐欺に注意、②庄原市キャッシュレス決済「いざなみカード」について、③高齢者防災研修への参加要請等お話がありました。

続いて“庄原の「紅屋」に歴史あり”と題して庄原自治振興区歴史文化継承委員奥田虎昭さんのお話を聴きました。話の終わりには、子どもの頃から宮の下と紅屋に住んでおられる佐藤さんから、紅屋・宮の下・大黒・本通りの半世紀前の上野池用水路を載せた住宅地図が配布され、話がだいに盛り上がりました。換気をしながら4ヶ月ぶりの楽しい会でした。



4月の振興区主催行事予定



13日(火) 理事・総務企画室合同会議 13:30～
20日(火) 環境美化・防犯パトロール 9:00～
(川手上・沖・中・下の各自治会長)
27日(火) 役員会 13:30～

29日(木・祝)水路堆積土砂取り除き清掃 7:00～
(主催:庄原地区公衆衛生推進会 対象:本町・東支部)

※ 上野池クリーン作戦は
3月29日(月)13:30～です

編集後記

今年度の当欄は、ずっとコロナコロナで、編集会議でも“大事だけどおもしろくないから触れまあ”と言いながらも書いてきました。

しかし、今回はうれしい気持ちで触れてみます。ワクチン接種が始まります、高齢者や基礎疾患持ちから始まるそうで大変うれしい。

早く、若い人や子供たちにこう言いたい、「ワクチンうったよ。これまで私たちのためにいろいろ我慢してくれて、ありがとう！」

M・M 記